

教えて！ 宮原先生

今月のテーマ

大人の耳と子どもの耳

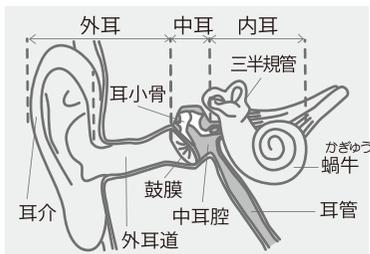
Vol.1

June 2011

体に具合の悪いところがあると、改めて健康のありがたみを感じますね。中でも耳・鼻・ノドは、音を聞く、においを感じる、ご飯を食べるといった、普段の生活にかかわりが深い場所なので、痛くなると、なおのこと困ってしまいます。そんな耳・鼻・ノドに起こりやすい病気やその症状、予防法、日常のケアの方法などについてお話ししましょう。

まずは 耳の基礎知識 機能と仕組み

音を聞いたり、体の平衡感覚を保つ耳は、外耳・中耳・内耳に分けられます。



- ・外耳…**耳介**と**外耳道**（耳の穴）からなります。
- ・中耳…**鼓膜**と**中耳腔**、**耳小骨**からなり、中耳腔は**耳管**で鼻とつながっています。
- ・内耳…音を脳に伝える**蝸牛**と、平衡感覚を司る**三半規管**などがあります。

次に、私たちが音を感じる仕組みをご紹介します。

シリーズ第1回目のテーマは、「大人の耳と子どもの耳」。大人と子どもとで違う、注意したい耳の症状や、普段のケア方法などをご紹介します。

みやはら耳鼻咽喉科
宮原孝和先生



◆◆◆ Check! お子さんの様子に注意しましょう ◆◆◆

お子さんに下のような様子が見られたら、一度、耳鼻科での受診をお勧めします。

- 呼びかけても反応・返事がない。
- 大きな音があっても反応がない、驚かない。
- テレビを近づいて見る。びっくりするくらい大きな音で見る。

● 赤ちゃんの人工内耳と聴力検査 ●

赤ちゃんが聴覚に何らかの異常をもって生まれてくる確率は 1000 人に 1 人と言われます。そこで、産科などで、赤ちゃんの聞こえの異常を、早期に発見するための、新生児聴覚スクリーニング検査（赤ちゃんに行う聴力検査）が行われています。異常が見つかった場合は、補聴器や人工内耳（体に埋め込む補聴器）が必要な場合もあります。

Point 私たちにとって大切な「耳」。次は「耳」の健康を維持するためのポイントをご紹介します。

発症しやすい症状は大人と子どもとで異なり、それぞれに注意したい点があります。

① 子供が発症しやすい症状 小さなお子さんは、慢性化したり、気づくのが遅れて重症化しやすいので、保護者の方の注意が、より大切です。

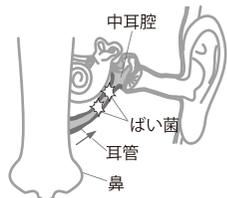
● おたふく風邪難聴 ●

おたふく風邪の合併症で起こることがあります。片側の耳に起こることが多いため、小さなお子さんは「聞こえない」と訴えることがなく、保護者も気付くのが遅れてしまい、手遅れとなるケースが多いたが現状です。おたふく風邪の予防接種は、ぜひ受けておきましょう。



● 中耳炎 ●

大人に比べ、耳管が太くて短い子供は、咳が続いたり鼻水がでると、ばい菌が耳管を通して中耳腔へ侵入しやすくなります。そのばい菌によって引き起こされるのが中耳炎で、子供に多くみられます。子供に鼻水や咳が続いた時は、中耳炎への注意が必要です。

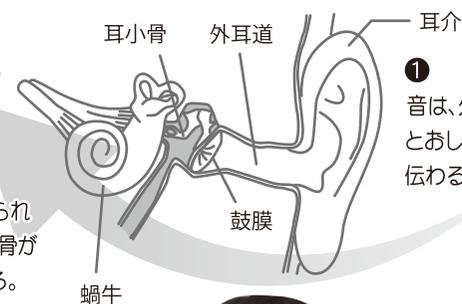


どうして音が聞こえるの？

④ 聞こえる

③ 蝸牛が、音を電気記号に変えて脳へ伝える。

② 鼓膜に伝えられた音を、耳小骨が蝸牛へ伝える。



① 音は、外耳道をとおして鼓膜へ伝わる。

さて、私たちは「音」をどのように感じているのでしょうか。音が聞こえる仕組みを図に表しますと…。

じつは、私たちは聞こえるから喋ることができるのです。その理由をお話しましょう。

音が聞こえることは、とても重要です。

Q もし、耳が聞こえなかったら？

A 喋ることが出来ません。



私たちは、もし耳が聞こえなかったら、自分の声を聞くことができません。たとえば「お」と「こ」を発声してみてください。全く違う言葉ですが、口の形は同じです。「お」と「こ」の違いは、聞こえるから分かるのです。つまり、私たちが喋ることができるのも、耳から入ってくる自分の声を聞き、それが正しいかどうかを確認しているからなのです。

特に幼児期には保護者の注意が大切です

成長とともに言葉を覚えていく赤ちゃんや子どもにとって、耳が聞こえることは、とても重要です。難聴を起こす病気には、痛みがないものもあり、知らぬ間に重症化してしまうケースもありますから、特に小さなお子さんは、保護者の方の注意が大切です。



耳掃除と耳のかゆみの関係

耳を清潔に保つのは良いことですが、掃除のやり過ぎでかゆみを訴える方が増えています。耳掃除をやり過ぎて外耳道に傷をつけると、傷が治る途中でかゆみが起こります。そのかゆみをとろうと耳掃除をしてしまい、さらに傷をつけてかゆくなるという悪循環に陥るのです。ひどい傷は更なる疾患の原因にもなりますから、くれぐれも掃除のやり過ぎには注意しましょう。

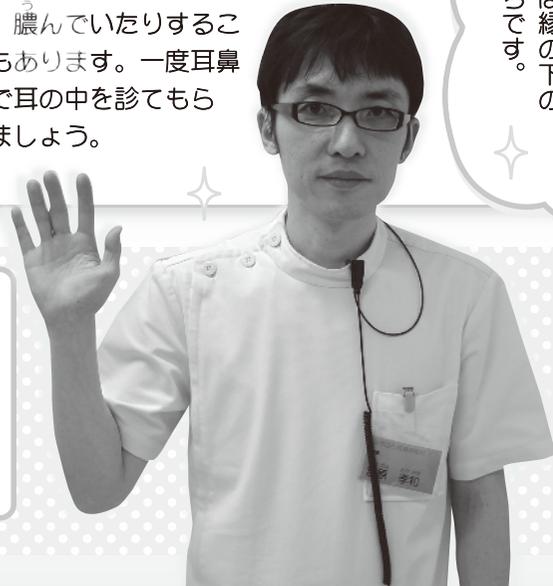


耳がかゆくなったら

耳の中にカビが生えていたり、膿んでいたりすることもあります。一度耳鼻科で耳の中を診てもらいましょう。

私たちが意識してもしなくても、体の平行を保ったり、音を聞いたり、とても大切な役割を担ってくれる耳は、いわば縁の下の力持ちです。

健やかな毎日を過ごすために、ぜひ、耳の健康に注意してみてくださいね。



今回は、中耳炎についてのお話です。

② 成人が発症しやすい症状

職場環境や長年の習慣、あるいは体の機能の低下などが要因となって起こります。

● 老人性難聴 ●

加齢による聴力の低下で起こり、徐々に進行します。難聴の程度には大きく個人差があり、多くの方は、年齢とともに言葉を聞き取りにくくなっていきます。機能の改善には、補聴器を装着して、衰えた聴力を補います。



耳掛け式補聴器

● 音響外傷 ●

音楽を大音量で聞き続けた後などに、音が聞こえにくくなる症状で、早期の治療が必要です。ヘッドホンやイヤホンの音は、周囲にもれるほどでは大き過ぎますから、周りの人がわからない程度の音量で聴きましょう。



● 騒音性難聴 ●

長年、騒音下の職場環境にいた方が発症しやすい難聴で、徐々に進行します。職場では聴力検査が義務づけられています。大きな音のする職場で働いている方は、難聴の予防に耳栓も使うようにしましょう。

Check! 耳掃除について

皆さんは、普段どれくらいの頻度で耳掃除をしますか？ 実は、触り過ぎによる耳のトラブルが増えているのです。そこで、ここでは、耳掃除をする際の注意点を紹介します。

始める前に

● 耳の穴はデリケート

耳の穴は、皮膚の下がすぐ骨になっていて、少しこすっただけでも傷がつきやすいので、注意しながら行う事が大切です。

● 耳垢の役割

ばい菌が耳に悪さをするのを防ぐ働きもあるので、全て取ろうとしなくて構いません。

● 耳の穴の自浄作用

耳には本来自浄作用があるので、放っておいても、耳垢やゴミは、自然と外へ押し出されてきます。

耳掃除の仕方

● 子供の場合

耳の穴が狭い小さなお子さんは、耳掃除のつもりが、かえって耳に傷をつけたり、耳垢やごみなどを奥へ押し込むことがあります。できれば、耳鼻科でとってもらうことをお勧めします。

● 大人の場合

綿棒などを使い、見える範囲のものを、年に2~3回、無理せずに取り除きましょう。



Miyahara ENT Clinic 医療法人 南輝 *

みやはら耳鼻咽喉科

〒702-8023 岡山市南区南輝3-3-28

Tel.086-237-4133

南輝小学校・西100mを左折 P20台

『ご納得いただける診療・丁寧な診療・お待たせしない診療』を実践する、地域に根ざした耳鼻咽喉科医院です。

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:15	●	●	●	●	●	●
15:00~18:15	●	●	●	-	●	-

QRコード

携帯版HPがご覧いただけます。



● 初めの方も順番予約できます ●

休診日 日曜・祝日
木曜と土曜の午後

● 詳しくは...

みやはら耳鼻科 で 検索!